

平成29(2017)年度 赤岡中学校経営全体計画

【学校教育目標】

夢 愛 希望

夢(将来の展望) ⇒ みんなでひろげよう
愛(自分、仲間) ⇒ みんなでつながろう
希望(夢の実現) ⇒ みんなで生かそう

【めざす生徒像】

◎自己指導力の身についた生徒

- ・自他を大切に、仲間とともに協力・奉仕できる生徒
- ・基礎学力を身につけ仲間と学びあえる生徒
- ・将来への展望をもって自ら学び、根気強く努力する生徒
- ・豊かな感性と健やかな体をもった生徒
- ・素直で礼儀を重んじ、挨拶・返事のできる生徒

【めざす学校像】

◎安心・安全・安定した学校

- ・生徒が生き生きと活動し、自ら学びたくなる学校
- ・安全で、自分を成長させてくれる学校
- ・保護者が子どもを通わせたいくなる学校
- ・地域に感謝し、貢献できる学校

【めざす教師像】

◎常に一步前進し尊敬される教師

- ・愛情を持って生徒の意欲、可能性を引き出し鍛えることのできる教師
- ・授業で勝負する教師
- ・豊かな人間性と指導力の向上に努める教師
- ・教育公務員として自覚と誇りを持ち、生徒・保護者・地域から信頼される教師

研究主題

「自尊感情を高め、自信とやる気のある生徒の育成」

～生徒に居場所と出番を与え、活動させ、成功体験・役立つ喜びを体感させ、それを褒めて認める教育の実践～

豊かな心の育成

【中期経営目標】

- 自尊感情の育成・「ほめる」教育実践
- 人権教育、道徳教育を推進し豊かな人間性と豊かな人権感覚の育成
- 基本的な生活習慣の確立

【短期経営目標】

- ①学級活動や生徒会活動を通して自己肯定感の育成や共感的な人間関係づくりを進める。
- ②道徳の教科化に向け、「考え議論する道徳」の研究実践を推進する。
- ③【聴く】【考える】【語る】ことのできる生徒の育成を目指し、授業や学級経営の充実を努める。
- ④人権教育を推進し、自尊感情・共感的に理解する力・人間関係調整力・人権感覚を育む。
- ⑤体験的な学習、ボランティア活動、地域との交流などを一層すすめて、人とのかかわりを豊かにし、その活動ぶりを紹介する。
- ⑥基本的な生活習慣の確立に努める。

学力の定着と向上

【中期経営目標】

- 基礎学力の定着をめざし、学ぶ意欲力を高め、粘り強く取り組む生徒の育成
- 授業規律の確立と家庭学習の習慣化
- 生徒指導の三機能を高める授業づくり

【短期経営目標】

- ①生徒にとってわかる楽しい授業を創造して基礎学力の定着を図る。「赤中授業のスタンダード」
○授業評価システムの活用
○書く力の育成
- ②【聴く】【考える】【語る】【交流】することのできる授業を実践し、コミュニケーション力を育成する。
○多様な意見を引き出し、絡み合わせる授業
- ③朝読書・赤中タイム・放課後補習の充実
- ④キャリア教育を充実し、将来に夢や希望をもった生徒を育てる。
- ⑤家庭学習の習慣化に努める。
○宿題・家庭学習ノート・学習委員会活動の取り組みを充実させる

信頼される学校

【中期経営目標】

- 保護者や地域に開かれた学校づくりに努め、信頼される学校を確立する。
- 積極的な情報発信
- 基本的な生活習慣の確立への協力を得る。

【短期経営目標】

- ①保護者や地域に対して学校・学年・道徳通信等により、積極的に情報発信を行う。
- ②参観日などの学校行事への保護者の参加が昨年度以上になるよう工夫する。
- ③生徒にとって安全で安心できる学校体制づくりを行う。
- ④学校評議員制度・学校評価を活用し、保護者や地域のニーズを反映する。
- ⑤地域・城山高校との避難所運営訓練など防災学習や人権学習を充実させ、保護者や地域の方を巻き込む実践を行う。
- ⑥PTA活動の活性化。

【目標達成の具体的方策】(取り組みの重点)

- 1 全校体制で定期的にチーム会を行い、教科間連携を推進するとともに、授業改善プランを充実する。
- 2 次期学習指導要領を視野に入れ、学力向上アドバタイズによる年間5回の継続的・系統的な校内研修に取り組む。
- 3 生徒一人一人に居場所と出番を与え、活動させ、成功体験と役立つ喜びを体感させる。それを褒めて認める活動を実践する。
- 4 赤中授業のスタンダードを基盤に、授業改善・単元テストの実施で、単元ごとのつまづきの発見と解決に向けた実践に取り組む。
- 5 家庭学習の定着と放課後加力学習の取り組みを強化する。(学習委員会活動・家庭学習ノート・定期テストへの取り組み等)
- 6 共感的な人間関係が構築された学級づくりを推進し、人権が尊重される人間関係・学習環境・生活環境の充実に取り組む。
- 7 道徳の教科化に向け「考え議論する道徳」の研究実践を推進する。
- 8 生徒会・専門委員会活動を活性化し、自主・自律の学校に。(生徒に活躍の場を与え成功体験・賞賛から自信を付けさせる実践)
- 9 平成31年度コミュニティスクール導入を視野に入れ、推進委員会を設置し地域との連携を深める。
- 10 赤中地区教育懇談会を中心にした連携教育の充実(教員の相互乗り入れ、授業研究、児童生徒の交流活動、教職員の交流活動)